

ようこそ2018



1日、イタリア北部ポローニャで開かれた新年コンサートで観客の拍手に応える吉田さん＝中央(共同)

邦人指揮 新年の調べ 伊で公演

【ポローニャ共同】イタリアのポローニャ歌劇場フィルハーモニーで日本人初の芸術監督を務める指揮者の吉田裕史さん(49)が1日、北部ポローニャのマンゾーニ劇場で新年コンサートを開いた。今年で3回目。吉田さんは昨年3月まで、日本人として初めてポローニャ歌劇場首席客演指揮者も務めた。

公演では同フィルハーモニーが、ヨハン・シュトラウス2世の「美しく青きドナウ」や、チャイコフスキー「くるみ割り人形」の「花のワルツ」などを演奏。他にイタリアやフランスなど、さまざまな国の作曲家の舞曲も取り上げた。

ワルツに合わせ地元のバレエグループがダンスを披露するなど、コンサートは終始楽しい雰囲気。4階席までを埋めた約千人の観客から「ブラボー」と歓声が上がった。

吉田さんは公演後「本場イタリアでオペラを究め、今年も良い演奏を残したい。日本人の間でもオペラの認知度が高まれば、うれしい」と話した。

ポローニャ歌劇場は250年以上の歴史を誇る。同フィルハーモニーは、歌劇場の管弦楽団の主要メンバーで構成されるオーケストラ。